

## 2. 火山の概況

(平成16年11月25日～平成16年12月1日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

草津白根山では微動が発生した。

浅間山では火映や鳴動があった。火山活動度レベル(以下レベルと記載)は3。

三宅島では小規模噴火が発生した。

福徳岡ノ場では変色水が確認された(期間外)。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いている。レベルは2。

諏訪之瀬島では噴火があった。

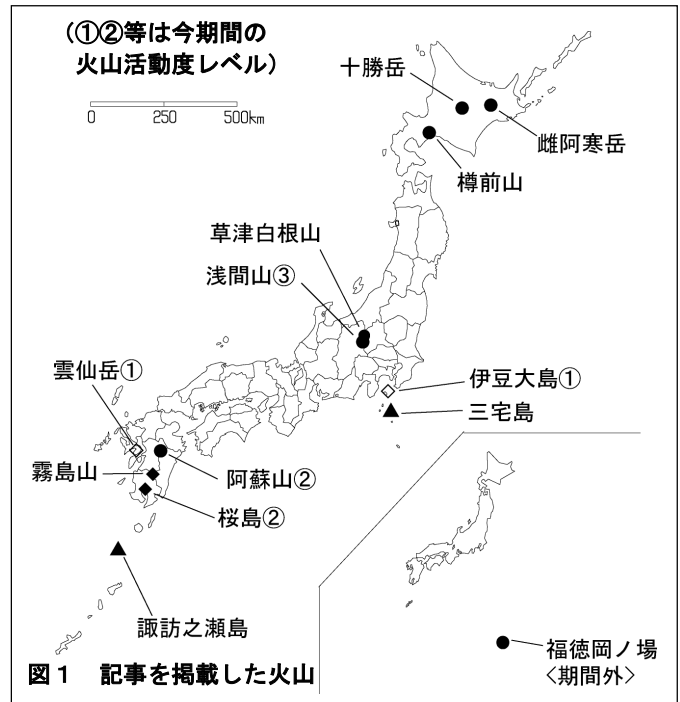


表1 最近1か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	草津白根山	三宅島	須美寿島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島	
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号											
49	11/25-12/1	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◆	●	●	●	●	▲				◆		▲
48	11/18-11/24	③	▲	①	◆	②	●	①	◇	②	▲	●	●	●		●		●	●			▲
47	11/11-11/17	③	▲	①	●	②	●	①	◇	②	◆	●	●	●		●			●			
46	11/4-11/10	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	●	●	●		●			●	◆	◆	
45	10/28-11/3	③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●		●	◆		●	●		▲

注1 記号の意味

- ▲: 噴火した火山
- : 活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
- ◆: 前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇: その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字: 火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

### ● 雌阿寒岳 [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

### ● 十勝岳 [噴煙・熱]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 200m で推移した。

### ● 樽前山 [熱]

A 火口およびB 噴気孔群の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

### ● 草津白根山 [微動] <期間外の記述を含む>

12月1日04時26分に、継続時間が短く、振幅の小さい火山性微動を観測した。火山性微動の発生は2000年4月10日以来である。微動発生時に、監視カメラによる観測では特に変化は見られず、地震活動、地殻変動にも特に変化はみられなかった。2日(期間外)に行った現地観測でも、湯釜湖面やその周辺の状況に特に変化は見られなかった。

### ● 浅間山 [火山ガス・鳴動・噴煙・火映・地震・微動] レベル3 (山頂火口で小～中噴火の可能性)

今期間噴火は観測されなかった。

11月26日に実施した火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は1日当たり2,000～2,900トンと依然多い状態であった(前回(10月28日)は2,000～3,000トン)。この観測中、火口の北北東約4kmの地点で「ゴー」という弱い鳴動を観測した。

白色噴煙が山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上700mまで上がった。11月25～26日及び28日～12月1日に山麓の高感度カメラで火映が観測され、28日夜には火口の北北東約4kmの地点で肉眼でも観測された。

火山性地震は520回(1日当たり40～99回)、火山性微動は13回観測され、ともにやや多い状態だった。

### ◇ 伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データに特段の変化はなかった。

### ▲ 三宅島 [噴火・空振・噴煙・地震] <期間外の記述を含む>

30日07時46分に小規模な噴火が発生し、灰色の噴煙が火口縁上300mまで上がり東に流れ、三宅島空港付近で降灰を観測した。この噴火に伴い低周波地震と空振が観測された。山麓で降灰が観測される程度の噴火が観測されたのは2002年11月24日以来である。

12月2日16時45分(期間外)にも小規模な噴火が発生し、灰色の噴煙が火口縁上600mまで上がり南西に流れた。この噴火に伴い低周波地震と空振が観測され、島内で震度1(三宅村神着、三宅村坪田)が観測された。噴火に伴う地震で震度1以上が観測されたのは2001年11月1日以来である。

期間中、白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、最高で火口縁上700mまで上がった。

振幅の小さいやや低周波の地震は期間中1日当たり18～35回観測された。

### ● 福徳岡ノ場 [変色水] <期間外の記述を含む>

海上自衛隊が11月24日(期間外)に行った上空からの観測によると、福徳岡ノ場周辺から西北西へ伸びる幅約300m、長さ約2,000mの緑色変色水が観測された。

### ● 阿蘇山 [熱・噴湯現象・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)

25日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰緑色、量は約8割、表面温度の最高は71℃(前回(11月16日)は62℃)で、火口壁の最高温度は158℃と依然高温であった(11月9日<sup>1)</sup>の観測では153℃)。湯だまりの中央付近、西及び南西側で噴湯現象があった。

噴煙は白色で噴煙の高さの最高は火口縁上400m(前期間400m)であった。

継続時間の短い火山性微動が37回発生し前期間(2回)よりやや増加した。孤立型微動の発生回数は417回であった(前期間は460回)。地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

1) 火口壁の温度は、前回(11月16日)の観測では、噴煙のため観測できなかった。

### ◇ 雲仙岳 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

### ◆ 霧島山

今期間、御鉢火口の噴気は監視カメラで観測されなかった。29～30日に新燃岳の西方約5～8kmで地震がやや増加したが、火山活動と直接の関連はないと考えられる。

### ◆ 桜島 レベル2 (比較的静穏な噴火活動)

期間中、噴火はなかった(前期間は爆発的噴火が1回)。27日に火口上200mの灰白色の噴煙が観

測されたが、それ以外には有色噴煙は観測されず噴煙活動も比較的低調であった。鹿児島地方気象台（南岳の西南西約 11 km）で降灰は観測されなかった（前期間もなし）。

### ▲ 諏訪之瀬島 [噴火・降灰・微動]

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、29 日～12 月 1 日に多量の火山灰を噴上げ、29 日は南東へ、30 日及び 12 月 1 日は西へ流れているのが確認された。29 日夕方に集落（御岳の南南西約 4 km）で少量の降灰があった。

26 日に火山性連続微動が発生し、継続時間の短い火山性微動もやや多く発生した。

表 2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第 157 号	25 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし）。レベルは 3。
	火山観測情報第 158 号	26 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし、微弱的な火映を観測、弱い鳴動あり）。レベルは 3。
	火山観測情報第 159 号	27 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし、二酸化硫黄放出量観測結果）。レベルは 3。
	火山観測情報第 160 号	28 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし）。レベルは 3。
	火山観測情報第 161 号	29 日 16:00	
	火山観測情報第 162 号	30 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし、微弱的な火映を観測）。レベルは 3。
	火山観測情報第 163 号	1 日 16:00	
三宅島	火山観測情報第 658 号 ↓（1 日 2 回発表） 火山観測情報第 671 号	25 日 09:30 ↓ 1 日 16:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	火山観測情報第 668 号	30 日 09:35	07 時 46 分頃に小規模の噴火発生、島の東部で少量の降灰。活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
阿蘇山	火山観測情報第 56 号	26 日 11:00	火山活動は引き続きやや活発（湯だまり高温状態、噴湯現象あり）。レベルは 2。